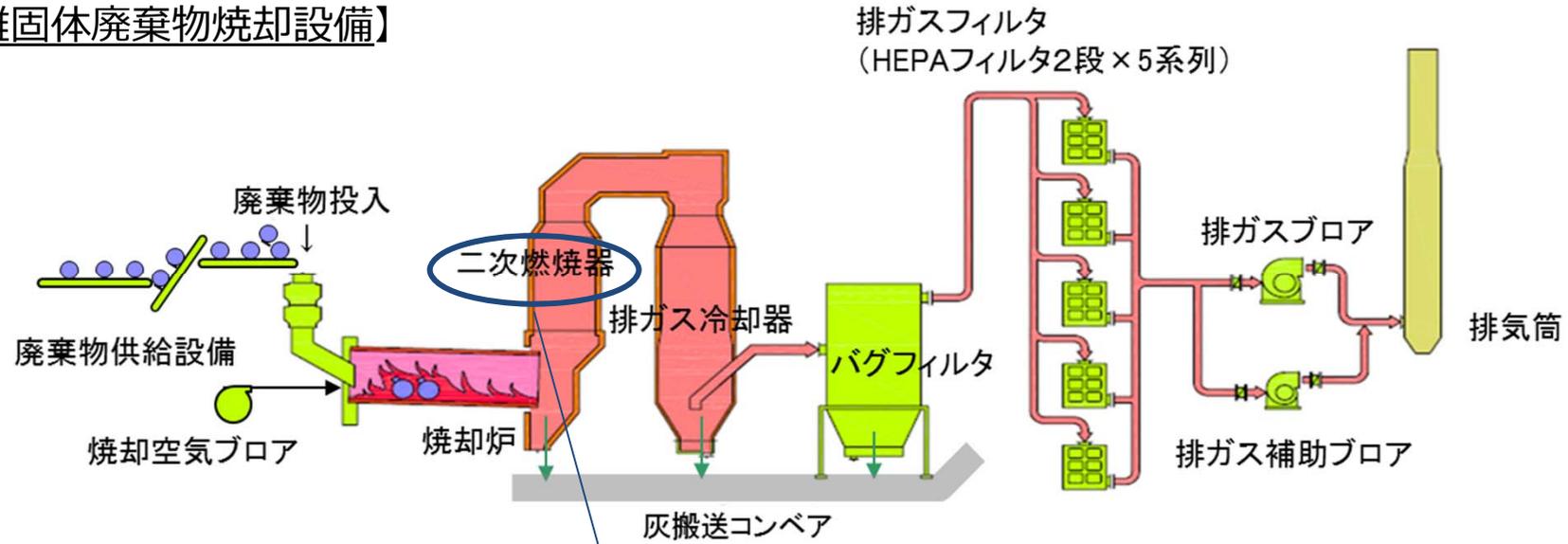


- 2021年1月31日から運転を停止していた雑固体廃棄物焼却設備（A）については、7月28日から起動準備を開始し、7月29日から焼却を開始しました。
- 本日（7月30日）午前1時54分、「二次燃焼器バーナA 軽油圧力高」警報が発生したことから、協力企業運転員が現場確認を行ったところ、午前2時14分、二次燃焼器バーナの安全弁が動作したことにより、バーナー燃焼用の軽油が、油受けに排出されていることを確認しました。排出された油は全量が油受けに留まっており、周辺への拡大はありません。（範囲：約25cm×約25cm×深さ約0.1cm）
- 現場確認時には、軽油の排出が継続していないことを確認しております。
- なお、双葉消防本部へ午前2時40分に連絡を行い、浪江消防署から「油漏れ事象」と判断されています。
- 雑固体廃棄物焼却設備建屋排気筒ガスモニタ・ダストモニタ指示値や、モニタリングポスト指示値、発電所敷地境界・構内ダストモニタ指示値、構内線量表示器指示値の指示値に有意な変動はなく、環境への影響はないと考えております。
- 同設備は、現在、運転を停止しており、今後、二次燃焼器バーナの安全弁が動作した原因を調査するとともに、原因が分かり次第、適切に再発防止対策を講じてまいります。

(参考) 設備概要図と現場状況

【雑固体廃棄物焼却設備】



【現場状況 (バーナ安全弁ユニット)】

